

第3期長野県森林づくり県民税活用事業実績について

1 森林税の活用状況

期次	期間	長野県実績	諏訪管内実績
第1期	平成20年度～平成24年度	3,121,431千円	117,526千円
第2期	平成25年度～平成29年度	2,917,161千円	175,790千円
第3期	平成30年度～令和4年度	3,828,793千円	332,243千円

2 第3期の概要

(1) 里山整備

目的が「防災・減災」と里山整備利用地域の指定による「住民等による利活用」の2つになり、場所が特定される。(搬出間伐が可能となり、面積等の要件が緩和された。)

(2) 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

河畔林の整備、子どもの居場所の木造・木質化・木製家具、おもちゃの設置、薪の流通の仕組みづくり、学校林の整備、信州やまほいく認定園のフィールド整備、観光地の景観整備など。

3 第3期の実施状況

(1) 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備

① 防災減災のための里山等の整備（みんなで支える里山整備事業）（単位：ha 千円）

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
面積	105.79	76.99	37.42	48.71	21.86	290.77
補助金額	2,543	20,625	16,369	27,221	11,768	78,526

② ライフライン等保全対策事業（単位：本 千円）

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
伐倒本数	—	677	538	125	16	1,356
補助金額	—	27,079	34,730	6,790	1,500	70,099

③ 県単道路への倒木防止事業（建設部）（単位：本 千円）

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
伐倒本数	—	340	—	—	—	340
事業費	—	10,000	—	—	—	10,000

④ 防災・減災対策緊急治山事業

(単位：本 千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
事業費				8,649	1,144	9,793

⑤ 地すべり防止施設管理サポート事業

(単位：本 千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
事業費				—	99	99

⑥ 県民協働による里山の整備・利用

■ みんなで支える里山整備事業

(単位：ha 千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
面積	1.50	8.29	18.05	—	32.22	60.06
補助金額	7,776	5,999	10,007	—	19,241	43,023

■ 里山整備利用地域活動推進事業

(単位：千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
箇所数	1	2	2	3	3	11
補助金額	80	290	451	743	1,075	2,639

■ 里山資源利活用推進事業

(単位：箇所 千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
箇所数	1	1	—	3	1	6
補助金額	975	1,125	—	1,556	545	4,201

■ 地域で進める里山集約化事業

(単位：ha 千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
面積	58.4	59.7	93.3	28.4	20.0	259.8
補助金額	929	219	1,400	426	300	3,274

■ 県単河畔林整備事業（建設部）

(単位：箇所 千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
箇所数	1	2	3	1	—	7
補助金額等	4,500	6,042	15,114	1,350	—	27,006

(2) 自律的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

① 地消地産による木の香る暮らしづくり事業

(単位：千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
箇所数	2	2	1	3	4	12
補助金額	381	1,045	158	1,292	3,646	6,522

(3) 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

① 森林の教育利用の推進

■ 学校林等利活用促進事業

(単位：千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
箇所数	1	1	1	1	2	6
補助金額	404	467	721	412	412	2,416

■ 自然保育活動フィールド等整備事業

(単位：千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
箇所数	—	—	—	1	—	1
補助金額	—	—	—	1,000	—	1,000

② 観光地における景観形成のための森林等の整備

■ 観光地等魅力向上森林景観整備事業

(単位：千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
箇所数	2	5	3	4	2	16
補助金額	1,115	2,000	6,429	3,388	1,403	14,335

■ 観光地の景観整備（建設部）

(単位：千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
箇所数	1	1	1	1	—	4
事業費	4,000	10,000	5,000	4,000	—	23,000

(4) 市町村に対する財政調整的視点での支援

① 森林づくり推進支援金

(単位：件 千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
事業数	8	8	9	10	10	45
補助金額	6,639	6,721	6,815	6,872	6,966	34,013

(5) 森林づくりの理解を深める普及啓発

(単位：千円)

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
補助金額	365	570	489	556	317	2,297

区分	H30	R1	R2	R3	R4	計
総計	29,707	92,183	97,682	64,256	48,415	332,243

(事業ごとの四捨五入のため合計が一致しない。)

令和4年度 森林税活用事業 実施状況一覧表

(令和5年3月現在)

区 分	内 容	箇所・面積・延長等	補助金額等
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備			35,672千円
防災・減災のための 里山等の整備事業	【みんなで支える里山整備事業】 「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、優先的に整備が必要な箇所の間伐を推進します。	諏訪市、茅野市、富士見 22ha	11,768千円
	【ライフライン等保全対策事業】 ライフライン（電線等）に隣接する森林において、倒木の恐れがある危険木を伐採します。	茅野市、富士見町、原村	1,500千円
	【防災・減災対策緊急治山事業】	岡谷市、諏訪市	1,144千円
	【地すべり防止施設管理サポート事業】 里山の地すべり防止施設の巡視や点検等を市町村に委託し、地すべりの再発を未然に防止します。	岡谷市	99千円
県民協働による 里山の整備・利用事業	【みんなで支える里山整備事業】 集落周辺の電線や建物に隣接する立木の特殊伐採や搬出間伐等に係る経費について補助します。	諏訪市、茅野市 32ha	19,241千円
	【里山整備利用地域活動推進事業】 森林整備体験、道標案内看板の設置、自然観察会、きのこ菌打ち体験等に係る経費に補助します。	茅野市 3箇所	1,075千円
	【里山資源利活用推進事業】 里山整備利用地域において、資機材の購入、林内歩道の整備等に係る経費に補助します。	茅野市 1箇所	545千円
地域で進める 里山集約化事業	【地域で進める里山集約化事業】 間伐事業実施地の森林所有者の合意形成や、所有者の境界を明確化する取組を支援します。	富士見町 1地区	300千円
2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用			3,646千円
地消地産による木の香る暮らしづくり事業	【「子どもの居場所」木質空間整備事業】 子どもが行う木工体験活動や「子どもの居場所」に木のおもちゃ等の設置に係る経費について補助します。	「子どもの居場所」 茅野市 2箇所 下諏訪町 1箇所 富士見町 1箇所 2事業	3,646千円
3 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用			1,815千円
森林の教育利用の 推進事業	【学校林等利活用促進事業】 学校林の活用を推進するため、放置され利用困難になっている学校林を整備します。	茅野市（永明小・北山小） 2箇所	412千円
観光地における 景観形成のための 森林等の整備事業	【観光地等魅力向上森林景観整備事業】 観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等を推進します。	岡谷市（岡谷湖畔公園） 茅野市（湯みち街道・御射鹿池） 2箇所	1,403千円
4 市町村に対する財政調整的視点での支援			6,966千円
森林づくり推進支援金	【森林づくり推進支援金】 森林に関する様々な課題解決のための市町村の取組を支援します。	岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村	1,307千円 1,412千円 1,897千円 777千円 1,016千円 557千円
5 森林づくりの理解を深める普及啓発			317千円
森林税の普及啓発 効果・検証	【みんなで支える森林づくり推進事業】 森林づくりの広報・普及啓発 税活用事業の評価検証を行います。		317千円
合 計			48,415千円

令和4年度 森林づくり推進支援金 事業実績一覧表

市町村名	No.	事業 項目 番号	事業 名	事業費 (千円)	負担内訳		備考
					支援金 (千円)	その他 (千円)	
岡谷市	1	1	林業振興事業	831	831		
	2	1	林道等小規模修繕事業	740	476	264	
	計		2件	1,571	1,307	264	
諏訪市	1	2	市単林道整備事業	2,277	1,412	865	
	計		1件	2,277	1,412	865	
茅野市	1	3	修景林間整備事業	1,937	1,897	40	
	計		1件	1,937	1,897	40	
下諏訪町	1	1	林道機能回復事業	1,298	634	664	
	2	2	木製ベンチ作製展示事業	143	143	0	
	計		2件	1,441	777	664	
富士見町	1	1	松枯損木伐倒処理事業	1,240	1,016	224	
	計		1件	1,240	1,016	224	
原村	1	3	ハケ岳山麓における景観形成のための森林整備①	468	468	0	
	1	3	ハケ岳山麓における景観形成のための森林整備②	132	89	43	
	計		2件	600	557	43	
合計			9件	9,066	6,966	2,100	

注) 事業項目番号

- 1 : みんなの暮らしを守る森林づくり
- 2 : 木を活かした力強い産業づくり
- 3 : 森林を支える豊かな地域づくり

(別記様式第 15 号)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

岡谷市

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	林業振興事業
2	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	林道等小規模修繕事業
事業費		1,571,000 円 (うち支援金: 1,307,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

<現状> 本市の人工林は、森林資源として利用できる時期にあるので積極的な間伐が必要な状況である。

<課題> 本市は個人所有の森林面積が零細のため、国や県の補助金対象外となり森林が整備されないままとなっている。また、災害復旧事業の対象にならない小規模な林道等が、豪雨等により崩れて通行不可となっている。

(2) 本事業の目的

国・県の補助事業の対象にならない森林や林道等に対し、市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、森林の適正な管理を図ることにより、森林所有者の負担軽減を図るとともに山の多面的機能を持続的に発揮させ、健全な森林づくりを目指す。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 岡谷市内の森林

(2) 対象者 岡谷市内に森林を所有する所有者

(3) 実施方法 ①は、森林所有者への補助事業 ②は、直営事業

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度) ①85ha (17ha/年) ②25 箇所 (5 箇所/年)

②令和 4 年度実績 ①18.56ha ②3 箇所(強化 3 箇所)



「個別

事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

国・県の補助事業の対象にならない森林や林道等に対し、市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、森林の適正な管理を図ることにより、森林所有者の負担軽減を図るとともに山の多面的機能を持続的に発揮させ、健全な森林づくりができた。

(2) 継続性

(1) の効果が期待できる事から継続が必要。

(3) 普及性

市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、山の多面的機能を持続的に発揮させることで、地域住民に森林の重要性を啓発できた。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

支援金充当により、市内森林において 18.56ha の森林整備及び 3 箇所の小規模林道等修繕事業等を実施できた。

(2) 課題

今後は、県森林づくり県民税活用事業を有効に活用し、森林の持つ多面的機能を維持・増進させること、また、市民一人ひとりが恩恵をうけられるような事業も検討していきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

森林整備 17ha/年

小規模林道等修繕事業 5 箇所/年

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

諏訪市

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	市単林道整備事業
事業費 2,277,000 円		(うち支援金: 1,412,000 円)

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

・諏訪市における森林面積は 7,291ha であり、カラマツを主体とした人工林の面積が約半数を占めている。林道扇平南峠線を含む西山地域は諏訪市の森林面積の半分以上を占め、間伐材の生産や特用林産物の生産が盛んな地域であるが、それらの生産活動を担う林道において、施設の老朽化が顕著であり、また近年ゲリラ豪雨等の影響による路面の洗掘や法面の崩落等が小規模ながらも度々発生しており、林道施設災害復旧事業の対象とならない林道整備が課題となっている。

(2) 本事業の目的

・林道施設の整備事業を実施し、今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくため林道機能の持続的発揮に資する。

事業内容

(1) 実施場所…諏訪市内林道 (別紙位置図)

(2) 対象者…諏訪市

(3) 実施方法…請負

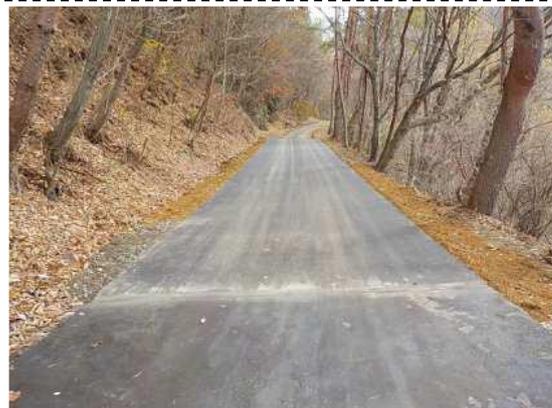
(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 2 年度～令和 4 年度)

林道日向入山線…事業目標延長 L=115.0m (令和 2～令和 4 年度) (改良工事 L=30.0m 舗装工事 85.0m)

②令和 4 年度実績

・林道日向入山線…施工延長 L=49.0m (改良工事 L=19.0m 舗装工事 30.0m)



事業効果

(1) 事業実施による効果

・林道の危険箇所が解消され、安全な通行が確保されることにより今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活性化が期待される。

(2) 継続性

・当該路線は、広く森林をカバーしているために多くの森林関係者が関与する場所であることから、大規模な通行規制が必要となる被害が発生する前に、適切な林道の整備を行うことで被災を最小限に留める及び被災しても早期の復旧が可能であることから、継続的な林業生産活動の確保が期待できる。

(3) 普及性

・地域における間伐材の生産促進や特用林産物の普及啓発を図ることができ、さらには森林整備等の意欲向上に繋がり、当該地域だけでなく森林所有者の整備事業促進へ寄与することが期待できる。

事業の検証及び評価

・林道機能の持続的発揮に資する林道施設の整備事業を実施したことにより、今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくための基盤づくりができました。

(2) 課題

・林道という性格上、特用林産物の生産期における施工は交通規制等の面で困難であることを考慮した工程の決定及び規制を計画する必要があります。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

・引き続き林道機能の持続的発揮のため、林道における未舗装の部分の早期完了や危険箇所の改修を実施し、森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくための基盤づくりへ取り組んでいきます。

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	茅野市
----------	-----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	修景林間整備事業
2	森林を支える豊かな地域づくり	森林税活用事業周知用看板作成
3	森林を支える豊かな地域づくり	茅野市永明寺山公園森林整備事業
事業費		1,937,240 円 (うち支援金: 1,897,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当市の民有林では、年間 100ha 程度の間伐が進められているものの、依然として森林整備の進まない場所が多くある。特に、3ha 未満の小規模個人有林では、高齢化に伴う林業離れが深刻化しており、放置林の増加や森林景観の悪化を招いている。

また、近年では、増えすぎたニホンジカによる樹木の剥皮や幼木の食害等が深刻化しており、森林の公益的機能が失われつつある。

今後は若年層の林業離れが一層加速化すると見られ、山の境界を知る高齢者も徐々に減っていくことが予想される。

(2) 本事業の目的

- 1 森林に対する意識や関心を高めるため、地域住民が主体となって行う森林整備を支援する。
- 2 修景林間整備事業の事業効果等を周知し、良好な森林景観への意欲や関心を高め、森林整備の一層の推進を図る。

2 茅野市永明寺山公園森林整備事業

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

茅野市永明寺山公園は、永明寺山頂上付近に位置しており、遊歩道や滑り台、八ヶ岳等を望む展望台が設けられていることもあり、平日休日を問わず多くの市民が訪れる場となっている。また、公園内や周辺には樹木や林もあり、休憩スペースや遊び場など森林体験の場としても活用されている。

しかし、展望台が設けられている頂上付近の木は高齢で樹高が高く、展望台からの眺望を妨げていることから、地元区から眺望景観整備のための伐採を要望する声もある。

さらに樹高の高い木は倒木の危険があり、公園施設の保全や利用者の安全確保の観点から、樹木の管理が課題となっている。

(2) 本事業の目的

茅野市永明寺山公園の展望台からの眺望を改善しながら、利用者にとって安心安全でより良い森林体験の場となるように永明寺山公園の森林整備を行う。

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成

(1) 実施場所 1 市内全域 2 事業実施箇所

(2) 対象者 地域住民等

(3) 実施方法

1 地域住民等が行う藪払い等による修景整備に対しha当たり176千円を支援する。

2 同事業実施箇所に看板を設置し、事業及び事業効果の普及を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (H30～R4) 要整備面積：30ha

②令和4年度実績 整備面積：4.16ha

実施箇所：市内7箇所

2 茅野市永明寺山公園森林整備事業

(1) 実施場所 茅野市永明寺山公園の展望台周辺

(2) 実施方法

競争入札により選定した業者へ委託する。

(3) 事業量

展望台からの眺望及び安全管理上の支障となっている、展望台北東側のアカマツ、カラマツ、ナラ、その他広葉樹を間伐(約0.2ha)

(事業1)



(事業1)



(事業2)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成

(1) 事業実施の効果

1 地域住民が主体となって森林整備に関わることで、森林に対する意識や関心を高めることができる。また、放置されていた雑木林等が除去されることで、良好な森林景観が創出され、野生鳥獣と人との適切な棲み分けが図られる。

2 看板を目にした人が事業を知り、その効果を確認することで森林景観に対する意識や関心の向上につながる。また、事業に関心を持つ人が増えることで活用の可能性が広がる。

(2) 継続性

1 複数の者が当該事業に関わることとなるため、事業実施後もその効果を維持するための自主的な取組が期待できる。また、良好な景観形成が図られることで、地域の誇りと愛着を再認識するきっかけとなる。

2 看板を設置することで、不特定多数の者に事業効果等を周知することができる。また、事業を知らなかった関係者等に対し、同事業の活用を促すきっかけとなる。

(3) 普及性

1 道路や集落等に密接する森林において雑然とした状態が除去されることで、不特定多数の者が良好な景観を享受することができる。

2 森林整備を行うだけでなく、どういった事業により整備されたのかを明示しておくことで事業の効果がより分かりやすいものとなる。

2 茅野市永明寺山公園森林整備事業

(1) 事業実施による効果

公園周辺の森林整備を行うことにより、公園利用者が安心安全でより良い森林体験を行うことができる。

(2) 継続性

公園周辺の森林を整備することで、展望台からの眺望を改善しながら、利用者にとって安心安全でより良い森林景観や森林体験の場の環境整備に繋がり、また、枯損木による倒木等の事故を未然に防ぐ事もできるため、長期的に安全でより良い森林体験が見込める。

(3) 普及性

運動公園周辺の森林が整備されることで、多くの利用者が良好な環境で活動を行うことができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成

(1) 目標に対する成果の状況

1 多くの人から道路沿いの森林が綺麗になったといった意見が寄せられている。また、雑木等を除去したことで道に日が差し込むようになるなど景観面においても一定の成果を上げることができた。なお、本年度はコロナウイルス感染症により、人が多く集まって行う地域住民による森林整備が難しく例年と比べて事業量が減少した。

2 看板を実施箇所にそれぞれ設置したことで、地域住民だけでなく関係団体等からも事業への問合せが増えた。

(2) 課題

コロナウイルス感染症により、本年度は事業量が大きく減少したが、本事業は0.05haと比較的小さい面積から対象としており、少人数及び短時間でできる作業についても補助金の対象としている。今後はそういった同事業の使いやすい部分についてもPRしていき、整備面積を増やしていきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

R 5 整備予定面積 10ha (予算 1,76 千円)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

2 茅野市永明寺山公園森林整備事業

(1) 目標に対する成果の状況

展望台からの眺望の支障となっていた樹木の伐採を行ったことで、遠方の山々を望む眺望が確保された。

また、樹高の高い木の伐採を行ったことで、遊歩道の安全についても確保され、より安全な森林体験の場とする事ができた。

(2) 課題

永明寺山公園の展望台付近にはなお樹高の高いものが多く、展望台からの眺望を妨げているため、今後、伐採した分については造林を図りつつ、運動公園内全体の立木について更新していく必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

今回の事業により茅野市永明寺山公園展望台周辺の立木については概ね伐採を行ったため。また、今後当面の間は、伐採した分の造林を図っていく必要があるため。

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

下諏訪町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る森林づくり	林道機能回復事業
事業費 1,298,000 円 (うち支援金: 634,000 円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

下諏訪町の森林面積は 5,651 ヘクタールで、町土面積の 84.5%を占めている。災害に強い健全な森林づくりを目指し森林の整備を進めているところであるが、特に、民有林の整備が遅れており、手入れ不足の森林の荒廃が進んでいる。

(2) 本事業の目的

間伐を中心とした適切な森林整備を行うことにより、健全な森林を次世代に継承していく。

併せて間伐対象地の搬出間伐を推進するための条件整備により、搬出間伐面積の拡大と木材利用を進める。

事業内容

(1) 実施場所 林道東山田線

(2) 対象者 森林所有者、林業事業者

(3) 実施方法 林道改良工事として随意契約のうえ、工事請負により実施。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和元年度～令和 5 年度)

施工延長: 100.0m 植生工: 700m²

②令和 4 年度実績

施工延長: 10.5m 植生工: 129.3m²



事業効果

(1) 事業実施の効果

林道改良による機能回復を図ることで、森林管理・施業のための人員及び資材・機械等の輸送の円滑化と間伐搬出による利活用の促進が図れる。

(2) 継続性

近年の局所的な集中豪雨等により本来の機能を発揮できない林道があることから、当該事業を継続して実施することにより、機能回復を図り交通の安全性及び施業の効率化がより図られる。

(3) 普及性

林道の機能回復を行い、林道があることによる効果を多くの利用者が認識することにより、森林の整備に関する意欲の向上と、森林づくり県民税の有効性を普及啓発することができる。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

事業実施した結果、林道東山田線の切取法面の浸食防止・斜面固定化が図られ、かつ、車両通行の導線が確保されたため、大型輸送車両の通行も担保された。このことから、戦後間もなく植栽され、現在、醸成しつつあるカラマツ林の生産間伐の可能性が高まり、森林経営意欲の向上に寄与されたものと思慮される。

(2) 課題

未だ民有林の整備が進んでおらず、手入れが必要な森林は多い。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今後も引き続き事業を行い、民有林の整備を推進していく。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

下諏訪町

No.	事業項目	事業名
2	木を活かした 力強い産業づくり	木製ベンチ作製展示事業
事業費 143,000 円 (うち支援金 : 143,000 円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

下諏訪町の森林面積は 5,651 ヘクタールで、町土面積の 84.5%を占めている。災害に強い健全な森林づくりを目指し森林の整備を進めているところであるが、特に、民有林の整備が遅れており、手入れ不足の森林の荒廃が進んでいる。更に、森林整備の遅れに伴い、利用可能な森林が町内にあるにも関わらず木材の利用が進んでいない。

(2) 本事業の目的

木材資源を活かした地場産材の有効利用を促進し、それに寄与する森林整備の着実な推進を図る。

事業内容

(1) 実施場所

老人福祉センター、文化センター、健康ステーション 各 1 基
赤砂崎公園右岸 2 基 計 5 基

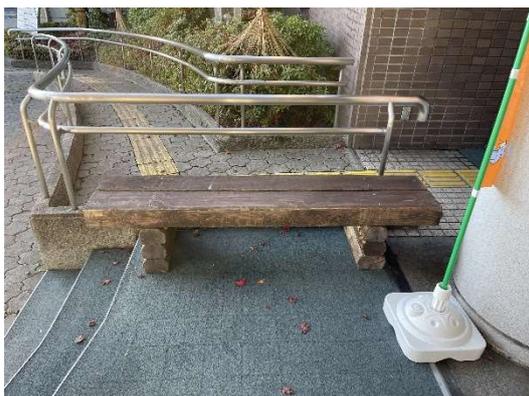
(2) 対象者 施設利用者

(3) 実施方法 県産間伐材で木製ベンチを作製し公共施設等に展示・活用する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和元年度～令和 5 年度) 作製個数 : 25 基

②令和 4 年度実績 作製個数 : 5 基



事業効果

(1) 事業実施の効果

森林整備が進まない要因の一つとして、発生する間伐材がなかなか利用されないことから、整備自体が進まない面がある。そこで、こうした間伐材をベンチとして有効活用することに

より森林整備の必要性を啓発するとともに、林地残材の減少、森林整備の推進に寄与する。

(2) 継続性

木製ベンチを一般利用者が多い様々な施設に設置することにより、身近な木材の良さを啓発する。継続的に公共的な施設に設置することにより多くの人に間伐材活用のPRを行い、設置場所や設置数の拡大・発展を図る。

(3) 普及性

公園などの公共施設に展示・活用することにより、木材の良さと森林の恵みを多くの利用者に知ってもらおう。これにより、森林整備の必要性と木材利用の機運を高めるとともに森林づくり県民税の有効性を普及啓発する。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

事業実施した結果、地域住民に県民税の「森林づくり推進支援金事業」を広く知ってもらうことが出来た。このことから、住民の間伐に対する意識の向上に寄与したものと考えられる。

(2) 課題

森林の重要性に対する意識がまだ低いと思われるため、引き続き当該事業を実施する必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今後も木材資源を活かした地場産材の有効活用を促進し、それに寄与する森林整備の着実な推進を図る。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない

(別記様式第15号)

令和4年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	富士見町
------	------

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松枯損木伐倒処理
事業費 1,240,000円 (うち支援金: 1,016,000円)		

事業目的

1) 地域の森林・林業の現状と課題

松林は森林資源のほか、生活環境の保全にも重要な役割を果たしているが、隣県松くい虫の激甚地域である。本県の入り口となる富士見町において、松くい虫被害を拡大させないことが未被害地域となる諏訪地域への進入防止となるため町内での繁殖・定着を防止する。

2) 本事業の課題

松枯損木の伐倒処理を行い、マツノマダラカミキリの繁殖、定着を防ぐ。

事業内容

1) 実施場所 富士見町 田端地区・下蔦木地区・机地区・木之間・立沢
瀬沢新田・先達地区・乙事地区

2) 対象者 富士見町

3) 実施方法 伐倒処理

4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成30年度～令和4年度)



事業効果

1) 事業実施の効果

松枯損木の伐倒処理により松くい虫の繁殖、定着を防止できる。

2) 継続性

健全な松林を維持することで松林の保護に繋がる。

3) 普及性

地域一体での取り組みを期待する。

事業の検証及び評価

1) 目標に対する成果の状況

早期に松枯損木を伐倒処理することで、近隣より富士見町に飛来するマツノマダラカミキリの定着・繁殖を防ぎ、松くい虫の発生を抑えることができた。

2) 課題

激甚地帯である山梨県は小さな河川を挟んで当町と近接しており、被害が当町にいつ広がってもおかしくない状況であるため、未然の防止が必要。

3) 今後の取り組み方向

■事業を現行どおり継続する。

監視活動を続け松枯損木を発見した場合については伐倒処理を行い、未然の対策を実施してゆく。

(別記様式第 15 号)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	原村
------	----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備事業
事業費		467,500 円 (うち支援金: 467,500 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当村は、観光を軸とした山岳高原リゾート構築のために、森林資源を活用した観光地の魅力向上が不可欠である。

(2) 本事業の目的

(1) の課題への対応方向について記載)

現在、周辺をビューポイント看板設置及び信玄の棒道等の整備を行っているが、加えて周辺の森を住民・観光客の憩いの森としての整備を行っていききたい。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 原村村有林整備 原村村有林

(2) 対象者 散策をする住民及び一般観光客

(3) 実施方法 森林整備を行い、住民が憩える森の整備をする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 (2019) ~令和 4 年度 (2022))

信玄の棒道から八ヶ岳山麓を見渡せるように間伐だけでなく森林整備を行う。また、信玄の棒道が狭いので作業道として活用し、最終的にウッドチップを敷均し、棒道の景観を良くする。

②令和 4 年度実績

信玄の棒道沿いの令和元年度に間伐した 1 h a 場所にレンゲツツジ 100 本を植栽



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

住民・観光客が気軽に入ることのできる憩いの森を整備する。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

信玄の棒道の整備は完了しているが、周辺一帯の森林には未整備の処が多い。人が気軽に入る森を整備するため、継続的な整備が必要。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

ガイドマップ等に記載されているが、足を踏み入れるには、少なくともそこを歩けば何かがあるという形で見える物を八ヶ岳に選定し、観光名所にしていきたい。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

レンゲツツジを植えたことによって、以前よりも景観が良くなり殺風景ではなくなった。実生の木とも共生し花が咲くと一帯がほんのり色づき、後ろにある八ヶ岳ともマッチしている。

(2) 課題

景観維持のために定期的な手入れが必要であること。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

今後も同じく八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備を行っていく。レンゲツツジの植栽を続けて眺望森林として整備していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

原村

No.	事業項目	事業名
2	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備事業
事業費		132,000 円 (うち支援金: 89,500 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当村は、観光を軸とした山岳高原リゾート構築のために、森林資源を活用した観光地の魅力向上が不可欠である。

(2) 本事業の目的

(1) の課題への対応方向について記載)

現在、周辺をビューポイント看板設置及び信玄の棒道等の整備を行っているが、加えて周辺の森を住民・観光客の憩いの森としての整備を行っていききたい。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 原村村有林整備 原村村有林

(2) 対象者 散策をする住民及び一般観光客

(3) 実施方法 森林整備を行い、住民が憩える森の整備をする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 (2019) ~令和 4 年度 (2022))

信玄の棒道から八ヶ岳山麓を見渡せるように間伐だけでなく森林整備を行う。また、信玄の棒道が狭いので作業道として活用し、最終的にウッドチップを敷均し、棒道の景観を良くする。

②令和 4 年度実績

原村村有林の御山マレット場北側のどんぐりの丘の景観が悪いため、地域住民と協力して植栽を行う。植栽に関しては、地域住民が育成している苗を植えていく。それに加えて村でも、村有林からの木の移植を 20 本行った。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

住民・観光客が気軽に入ることのできる憩いの森を整備する。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

信玄の棒道の整備は完了しているが、周辺一帯の森林には未整備の処が多い。人が気軽に入る森を整備するため、継続的な整備が必要。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

ガイドマップ等に記載されているが、足を踏み入れるには、少なくともそこを歩けば何かがあるという形で見える物を八ヶ岳に選定し、観光名所にしていきたい。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

(2) 課題

景観維持のために定期的な手入れが必要であること。

苗の食害防止方法が確立していないこと。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

毎年計画を見直し地域住民が育成している苗の成長次第で、村も植栽するか判断するため。現状このまま実施予定。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)